

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リエゾン門前仲町		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 8日		2024年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	67	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2024年 10月 15日		2024年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	年 月 日		年 月 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)		(回答数)
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	メニューの豊富さ	1か月ごとに大きなテーマを設け、週ごとに分けてスモールステップで練習していき1か月かけて形にできるように行っている。	レッスン時にフィードバックを行っており、その際に保護者様から受けた要望をスタッフ間で共有し、レッスンをを行うスタッフが変更しても、毎回のレッスンで成長が感じられるメニューの考案、開発を行っていく。
2	保護者様とのコミュニケーションを取れる機会が多い	ガラス張りのフロアからレッスンの様子をモニタリングすることができ、近くでお子様の成長を見守れる。フィードバックの際にはその日のお子様の様子を共有し疑問点などはその場で解消することができる。	活動している様子や表情が保護者様から見やすいようにスタッフの立ち位置や道具の置き方などを工夫しながら行っていく。
3	設備の充実、道具の豊富さ	少人数制のレッスンの為、年齢や運動ペースに合わせて道具を組み合わせ、同じ内容でも使う道具やアプローチの仕方を変え、1人1人に合わせたレッスンを提供している。	スタッフ間でお子様の様子を日々細かく共有し、お子様が楽しく取り組める方法や必要としていることを模索していく。他教室リエゾンと連携しメニューの共有なども行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフの専門性の質	STやOTなどの専門的な資格保持者がいない。	普段のミーティングやケース会議などを通して、どのような支援方法があるのか、何が適切なのかを常に話し合い、実行し、実行したあとどうだったかなどフィードバックを行い、常に模索を行っていく。
2	児童発達支援の歴が浅い20代のスタッフが多く、資格を活かした支援が難しい。	運動療育を行っている為、経験が必要とされるケースが多い。	歴が長く、経験豊富なスタッフを管理者として配置するなどの工夫をしている。
3			